

令和4年度第1回放送大学学園契約監視委員会議事概要

開催日及び場所	令和4年10月17日(月) 放送大学学園東京文京学習センター WEB会議	
委員長	溝口 周二 (横浜国立大学名誉教授)	
委員	出口 利定 (放送大学学園・監事)	
委員	大河原 遼平 (放送大学学園・監事)	
審議対象期間	令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日	
審議事項	(1)令和3年度契約について ア 令和3年度契約の全体像及び推移 イ 令和3年度競争性のある契約(一般競争入札、企画競争等) ウ 令和3年度競争性のない随意契約 (2)一者応札案件について (3)令和3年度再委託の状況について	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	下記のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	
	意見・質問(上記の審議事項の項番に対応)	回答等
(1)令和3年度契約について		
イ 令和3年度競争性のある契約(一般競争入札、企画競争等)		
①「放送大学学園における番組制作技術等の委託業務」については価格競争により実施しているがどのような業務か。	①本件については、番組を制作するに当たって必要な技術的な業務、例えばカメラ撮影、音声業務、編集業務を実施する業務である。	
(2)一者応札案件について		
①公告期間を長く設定することは、業者側からみるとどのようなメリットがあるのか。	①公告とは、競争を行う旨を不特定多数の者に知らせ、なるべく多数の競争参加者を得ようとするものである。このため、なるべく長期間、公表し、多くの者の目に止まるようにする必要があると考える。また、公告期間は、入札をしようとする者に対する周知期間及び入札のための準備期間(入札金額を見積もるために必要な期間など)であるため、競争参加希望者からみると、この期間が長いことはメリットがあると考え。	
②競争参加希望者を増やすために取組としてメールマガジンのような手法を活用できないか検討してほしい。	②方法について検討して参りたい。	
(3) 令和3年度再委託の状況について		
①再委託業者が起こした問題は、全部委託業者が連帯して責任を負うということは契約書において規定しているか。	①契約書において規定している。	
その他		
①複合機の利用についてモノクロ、両面印刷は良いことである。また、会議等の資料については、ペーパーレスにしていくことは良いことであるが、学内における説明資料についてもペーパーレスを検討してはどうか。	①検討する。	